

Q001 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。
- B. 認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。
- C. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

答え・解説

正答：C. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

超簡単な解説：認知症は、脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

Q002 疾患 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、アルツハイマー型認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。
- B. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- C. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。
- D. 本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。

答え・解説

正答：B. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。

超簡単な解説：アルツハイマー型認知症では、同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。この対応が適切である。

Q003 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践で血管性認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- B. 認知症の人を支援の対象だけでなく社会の一員として捉えるため。
- C. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。
- D. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。

答え・解説

正答：C. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。

超簡単な解説：血管性認知症を重視する理由は、認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。

Q004 疾患 | 4択 | 応用

問題

Dさんはレビー小体型認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、レビー小体型認知症の観点から本人中心に対応する。

Q005 疾患 | 4択 | 標準

問題

前頭側頭型認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：前頭側頭型認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 症状 | 4択 | 標準

問題

中核症状に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 症状 | 4択 | 基礎

問題

BPSDに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 症状 | 4択 | 応用

問題

見当識障害を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 支援 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、徘徊への対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 夕方から不安や混乱が強くなることがある状態。
- B. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。
- C. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。
- D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

答え・解説

正答：D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

超簡単な解説：徘徊への対応は、歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

Q010 症状 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、夕暮れ症候群を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。
- B. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：B. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。

超簡単な解説：夕暮れ症候群では、夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。この対応が適切である。

Q011 支援観 | 4択 | 標準

問題

介護実践でパーソン・センタード・ケアを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。
- B. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。
- C. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。
- D. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

答え・解説

正答：A. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。

超簡単な解説：パーソン・センタード・ケアを重視する理由は、その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。

Q012 支援技術 | 4択 | 応用

問題

Fさんはユマニチュード的関わりに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ユマニチュード的関わりの観点から本人中心に対応する。

Q013 支援技術 | 4択 | 標準

問題

回想法の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：回想法では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 家族 | 4択 | 標準

問題

認知症の人の家族支援に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 疾患 | 4択 | 基礎

問題

若年性認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 制度 | 4択 | 応用

問題

認知症基本法の理念を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q017 基礎 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。
- B. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。
- C. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。
- D. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。

答え・解説

正答：C. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。

超簡単な解説：認知症では、物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。この対応が適切である。

Q018 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践でアルツハイマー型認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。
- B. 高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。
- C. 記憶障害への叱責は不安と混乱を強めるため。
- D. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。

答え・解説

正答：C. 記憶障害への叱責は不安と混乱を強めるため。

超簡単な解説：アルツハイマー型認知症を重視する理由は、記憶障害への叱責は不安と混乱を強めるため。

Q019 疾患 | 4択 | 応用

問題

Aさんは血管性認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、血管性認知症の観点から本人中心に対応する。

Q020 疾患 | 4択 | 標準

問題

レビー小体型認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：レビー小体型認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 疾患 | 4択 | 標準

問題

前頭側頭型認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 症状 | 4択 | 基礎

問題

中核症状に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 症状 | 4択 | 応用

問題

BPSDを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 症状 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、見当識障害の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- B. 時間、場所、人、状況が分かりにくくなる状態。
- C. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。
- D. 脳梗塞や脳出血など脳血管障害に関連して起こる認知症。

答え・解説

正答：B. 時間、場所、人、状況が分かりにくくなる状態。

超簡単な解説：見当識障害は、時間、場所、人、状況が分かりにくくなる状態。

Q025 支援 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、徘徊への対応を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。
- C. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。
- D. 麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。

答え・解説

正答：B. 無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。

超簡単な解説：徘徊への対応では、無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。この対応が適切である。

Q026 症状 | 4択 | 標準

問題

介護実践で夕暮れ症候群を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- C. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。
- D. 時間帯や環境の影響を調整することで不安を軽減できるため。

答え・解説

正答：D. 時間帯や環境の影響を調整することで不安を軽減できるため。

超簡単な解説：夕暮れ症候群を重視する理由は、時間帯や環境の影響を調整することで不安を軽減できるため。

Q027 支援観 | 4択 | 応用

問題

Cさんはパーソン・センタード・ケアに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、パーソン・センタード・ケアの観点から本人中心に対応する。

Q028 支援技術 | 4択 | 標準

問題

ユマニチュード的関わりの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：ユマニチュード的関わりでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 支援技術 | 4択 | 標準

問題

回想法に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 家族 | 4択 | 基礎

問題

認知症の人の家族支援に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 疾患 | 4択 | 応用

問題

若年性認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q032 制度 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、認知症基本法の理念の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知症の人を含む国民一人ひとりが尊厳と希望を持って暮らせる共生社会を目指す考え方。
- B. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。
- C. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- D. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。

答え・解説

正答：A. 認知症の人を含む国民一人ひとりが尊厳と希望を持って暮らせる共生社会を目指す考え方。

超簡単な解説：認知症基本法の理念は、認知症の人を含む国民一人ひとりが尊厳と希望を持って暮らせる共生社会を目指す考え方。

Q033 基礎 | 4択 | 標準

問題

介護実践で認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 時間帯や環境の影響を調整することで不安を軽減できるため。
- B. 安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。
- C. 認知症は生活支援の視点で理解する必要があるため。
- D. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。

答え・解説

正答：C. 認知症は生活支援の視点で理解する必要があるため。

超簡単な解説：認知症を重視する理由は、認知症は生活支援の視点で理解する必要があるため。

Q034 疾患 | 4択 | 応用

問題

Dさんはアルツハイマー型認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、アルツハイマー型認知症の観点から本人中心に対応する。

Q035 疾患 | 4択 | 標準

問題

血管性認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：血管性認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q036 疾患 | 4択 | 標準

問題

レビー小体型認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q037 疾患 | 4択 | 基礎

問題

前頭側頭型認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q038 症状 | 4択 | 応用

問題

中核症状を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q039 症状 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、BPSDの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。
- B. 認知症の人を含む国民一人ひとりが尊厳と希望を持って暮らせる共生社会を目指す考え方。
- C. 夕方から不安や混乱が強くなることがある状態。
- D. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

答え・解説

正答：A. 認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。

超簡単な解説：BPSDは、認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。

Q040 症状 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、見当識障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。
- B. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。
- C. 過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：A. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。

超簡単な解説：見当識障害では、日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。この対応が適切である。

Q041 支援 | 4択 | 標準

問題

介護実践で徘徊への対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 見通しを持ちやすくすると不安を減らせるため。
- B. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。
- C. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：C. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。
超簡単な解説：徘徊への対応を重視する理由は、徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。

Q042 症状 | 4択 | 応用

問題

Fさんは夕暮れ症候群に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。
超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、夕暮れ症候群の観点から本人中心に対応する。

Q043 支援観 | 4択 | 標準

問題

パーソン・センタード・ケアの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
超簡単な解説：パーソン・センタード・ケアでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q044 支援技術 | 4択 | 標準

問題

ユマニチュード的関わりに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q045 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

回想法に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q046 家族 | 4択 | 応用

問題

認知症の人の家族支援を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q047 疾患 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、若年性認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。
- B. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。
- C. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。
- D. 認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。

答え・解説

正答：C. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。

超簡単な解説：若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。

Q048 制度 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、認知症基本法の理念を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- D. 無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。

答え・解説

正答：A. 本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。

超簡単な解説：認知症基本法の理念では、本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。この対応が適切である。

Q049 基礎 | 4択 | 応用

問題

Aさんは認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、認知症の観点から本人中心に対応する。

Q050 疾患 | 4択 | 標準

問題

アルツハイマー型認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：アルツハイマー型認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q051 疾患 | 4択 | 標準

問題

血管性認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q052 疾患 | 4択 | 基礎

問題

レビー小体型認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q053 疾患 | 4択 | 応用

問題

前頭側頭型認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q054 症状 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、中核症状の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下など、脳の障害により直接生じる症状。
- B. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- C. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。
- D. 脳梗塞や脳出血など脳血管障害に関連して起こる認知症。

答え・解説

正答：A. 記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下など、脳の障害により直接生じる症状。

超簡単な解説：中核症状は、記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下など、脳の障害により直接生じる症状。

Q055 症状 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、BPSDを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- B. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。
- C. 過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。
- D. 症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。

答え・解説

正答：B. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。

超簡単な解説：BPSDでは、行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。この対応が適切である。

Q056 症状 | 4択 | 標準

問題

介護実践で見当識障害を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- B. 安全確認は医療職だけが行うため。
- C. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。
- D. 見通しを持ちやすくすると不安を減らせるため。

答え・解説

正答：D. 見通しを持ちやすくすると不安を減らせるため。

超簡単な解説：見当識障害を重視する理由は、見通しを持ちやすくすると不安を減らせるため。

Q057 支援 | 4択 | 応用

問題

Cさんは徘徊への対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、徘徊への対応の観点から本人中心に対応する。

Q058 症状 | 4択 | 標準

問題

夕暮れ症候群の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：夕暮れ症候群では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q059 支援観 | 4択 | 標準

問題

パーソン・センタード・ケアに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q060 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

ユマニチュード的関わりに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q061 支援技術 | 4択 | 応用

問題

回想法を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q062 家族 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、認知症の人の家族支援の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の介護負担や心理的負担を理解し、情報提供や相談につなげること。
- B. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- C. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。
- D. 見る・話す・触れる・立つなどを通じて、相手を大切にしていることを伝える関わり。

答え・解説

正答：A. 家族の介護負担や心理的負担を理解し、情報提供や相談につなげること。

超簡単な解説：認知症の人の家族支援は、家族の介護負担や心理的負担を理解し、情報提供や相談につなげること。

Q063 疾患 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、若年性認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。
- D. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。

答え・解説

正答：D. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。

超簡単な解説：若年性認知症では、仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。この対応が適切である。

Q064 制度 | 4択 | 標準

問題

介護実践で認知症基本法の理念を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 時間帯や環境の影響を調整することで不安を軽減できるため。
- B. 認知症の人を支援の対象だけでなく社会の一員として捉えるため。
- C. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。
- D. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。

答え・解説

正答：B. 認知症の人を支援の対象だけでなく社会の一員として捉えるため。

超簡単な解説：認知症基本法の理念を重視する理由は、認知症の人を支援の対象だけでなく社会の一員として捉えるため。

Q065 基礎 | 4択 | 標準

問題

認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q066 疾患 | 4択 | 標準

問題

アルツハイマー型認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q067 疾患 | 4択 | 基礎

問題

血管性認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q068 疾患 | 4択 | 応用

問題

レビー小体型認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q069 疾患 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、前頭側頭型認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- B. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。
- C. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。
- D. 家族の介護負担や心理的負担を理解し、情報提供や相談につなげること。

答え・解説

正答：B. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。

超簡単な解説：前頭側頭型認知症は、人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。

Q070 症状 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、中核症状を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。
- C. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- D. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。

答え・解説

正答：B. 症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。

超簡単な解説：中核症状では、症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。この対応が適切である。

Q071 症状 | 4択 | 標準

問題

介護実践でBPSDを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。
- B. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- C. 高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。
- D. 背景要因への対応が症状軽減につながるため。

答え・解説

正答：D. 背景要因への対応が症状軽減につながるため。

超簡単な解説：BPSDを重視する理由は、背景要因への対応が症状軽減につながるため。

Q072 症状 | 4択 | 応用

問題

Fさんは見当識障害に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、見当識障害の観点から本人中心に対応する。

Q073 支援 | 4択 | 標準

問題

徘徊への対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：徘徊への対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q074 症状 | 4択 | 標準

問題

夕暮れ症候群に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q075 支援観 | 4択 | 基礎

問題

パーソン・センタード・ケアに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q076 支援技術 | 4択 | 応用

問題

ユマニチュード的関わりを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q077 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、回想法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- B. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。
- C. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。
- D. 時間、場所、人、状況が分かりにくくなる状態。

答え・解説

正答：A. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。

超簡単な解説：回想法は、昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。

Q078 家族 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、認知症の人の家族支援を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- B. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。
- C. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着いた日課を整える。
- D. 正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

答え・解説

正答：A. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。

超簡単な解説：認知症の人の家族支援では、家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。この対応が適切である。

Q079 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践で若年性認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。
- B. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。
- C. 高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。
- D. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

答え・解説

正答：C. 高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。

超簡単な解説：若年性認知症を重視する理由は、高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。

Q080 制度 | 4択 | 応用

問題

Bさんは認知症基本法の理念に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、認知症基本法の理念の観点から本人中心に対応する。

Q081 基礎 | 4択 | 標準

問題

認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q082 疾患 | 4択 | 基礎

問題

アルツハイマー型認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q083 疾患 | 4択 | 応用

問題

血管性認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q084 疾患 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、レビー小体型認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の介護負担や心理的負担を理解し、情報提供や相談につなげること。
- B. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。
- C. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。
- D. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。

答え・解説

正答：B. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。

超簡単な解説：レビー小体型認知症は、認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。

Q085 疾患 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、前頭側頭型認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。
- B. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。
- C. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。
- D. 物忘れだけで判断せず、生活上の困りごとや安全面を観察する。

答え・解説

正答：B. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。

超簡単な解説：前頭側頭型認知症では、行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。この対応が適切である。

Q086 症状 | 4択 | 標準

問題

介護実践で中核症状を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 中核症状は本人の努力不足ではないため。
- B. 高齢期とは異なる生活課題への支援が必要だから。
- C. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。
- D. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

答え・解説

正答：A. 中核症状は本人の努力不足ではないため。

超簡単な解説：中核症状を重視する理由は、中核症状は本人の努力不足ではないため。

Q087 症状 | 4択 | 応用

問題

CさんはBPSDに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、BPSDの観点から本人中心に対応する。

Q088 症状 | 4択 | 標準

問題

見当識障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：見当識障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q089 支援 | 4択 | 標準

問題

徘徊への対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q090 症状 | 4択 | 基礎

問題

夕暮れ症候群に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的事実を残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q091 支援観 | 4択 | 応用

問題

パーソン・センタード・ケアを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q092 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ユマニチュード的関わりの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- B. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。
- C. 見る・話す・触れる・立つなどを通じて、相手を大切にしていることを伝える関わり。
- D. 夕方から不安や混乱が強くなることのある状態。

答え・解説

正答：C. 見る・話す・触れる・立つなどを通じて、相手を大切にしていることを伝える関わり。

超簡単な解説：ユマニチュード的関わりは、見る・話す・触れる・立つなどを通じて、相手を大切にしていることを伝える関わり。

Q093 支援技術 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、回想法を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。
- B. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。

答え・解説

正答：D. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。

超簡単な解説：回想法では、本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。この対応が適切である。

Q094 家族 | 4択 | 標準

問題

介護実践で認知症の人の家族支援を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。
- B. 安全確認は医療職だけが行うため。
- C. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- D. 徘徊には探し物、不安、排泄などの理由がある場合があるため。

答え・解説

正答：A. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。

超簡単な解説：認知症の人の家族支援を重視する理由は、家族の支援継続には負担軽減が重要だから。

Q095 疾患 | 4択 | 応用

問題

Eさんは若年性認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、若年性認知症の観点から本人中心に対応する。

Q096 制度 | 4択 | 標準

問題

認知症基本法の理念の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：認知症基本法の理念では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q097 基礎 | 4択 | 基礎

問題

認知症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q098 疾患 | 4択 | 応用

問題

アルツハイマー型認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q099 疾患 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、血管性認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。
- B. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- C. 脳梗塞や脳出血など脳血管障害に関連して起こる認知症。
- D. 人格変化、行動抑制の低下、常同行動などが目立つことがある認知症。

答え・解説

正答：C. 脳梗塞や脳出血など脳血管障害に関連して起こる認知症。

超簡単な解説：血管性認知症は、脳梗塞や脳出血など脳血管障害に関連して起こる認知症。

Q100 疾患 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、レビー小体型認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- B. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- C. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- D. 正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

答え・解説

正答：A. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。

超簡単な解説：レビー小体型認知症では、『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。この対応が適切である。

Q101 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践で前頭側頭型認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。
- B. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- C. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。
- D. 背景要因への対応が症状軽減につながるため。

答え・解説

正答：A. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

超簡単な解説：前頭側頭型認知症を重視する理由は、本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

Q102 症状 | 4択 | 応用

問題

Fさんは中核症状に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、中核症状の観点から本人中心に対応する。

Q103 症状 | 4択 | 標準

問題

BPSDの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：BPSDでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q104 症状 | 4択 | 標準

問題

見当識障害に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q105 支援 | 4択 | 基礎

問題

徘徊への対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q106 症状 | 4択 | 応用

問題

夕暮れ症候群を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q107 支援観 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、パーソン・センタード・ケアの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下など、脳の障害により直接生じる症状。
- B. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。
- C. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- D. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。

答え・解説

正答：B. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。

超簡単な解説：パーソン・センタード・ケアは、認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。

Q108 支援技術 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、ユマニチュードの関わりを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。
- B. 麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。
- C. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。
- D. 本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。

答え・解説

正答：A. 正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

超簡単な解説：ユマニチュードの関わりでは、正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。この対応が適切である。

Q109 支援技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で回想法を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 背景要因への対応が症状軽減につながるため。
- B. 安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。
- C. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：B. 安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。

超簡単な解説：回想法を重視する理由は、安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。

Q110 家族 | 4択 | 応用

問題

Bさんは認知症の人の家族支援に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、認知症の人の家族支援の観点から本人中心に対応する。

Q111 疾患 | 4択 | 標準

問題

若年性認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：若年性認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q112 制度 | 4択 | 標準

問題

認知症基本法の理念に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q113 基礎 | 4択 | 応用

問題

認知症を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q114 疾患 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、アルツハイマー型認知症の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。
- B. 認知症に伴う行動・心理症状で、不安、興奮、徘徊、幻覚、抑うつなどが含まれる。
- C. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。
- D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

答え・解説

正答：A. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。

超簡単な解説：アルツハイマー型認知症は、記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。

Q115 疾患 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、血管性認知症を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。
- B. 麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。
- C. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- D. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。

答え・解説

正答：B. 麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。

超簡単な解説：血管性認知症では、麻痺や嚥下障害など身体症状も含めて観察する。この対応が適切である。

Q116 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践でレビー小体型認知症を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 認知症の人を支援の対象だけでなく社会の一員として捉えるため。
- B. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。
- C. 見通しを持ちやすくすると不安を減らせるため。
- D. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。

答え・解説

正答：B. 幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。

超簡単な解説：レビー小体型認知症を重視する理由は、幻視を強く否定すると不安や興奮が増すことがあるため。

Q117 疾患 | 4択 | 応用

問題

Cさんは前頭側頭型認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、前頭側頭型認知症の観点から本人中心に対応する。

Q118 症状 | 4択 | 標準

問題

中核症状の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：中核症状では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q119 症状 | 4択 | 標準

問題

BPSDに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q120 症状 | 4択 | 基礎

問題

見当識障害に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q121 支援 | 4択 | 応用

問題

徘徊への対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q122 症状 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、夕暮れ症候群の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 記憶障害から始まることが多く、徐々に進行する代表的な認知症。
- B. 夕方から不安や混乱が強くなることがある状態。
- C. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。
- D. 認知症の人を含む国民一人ひとりが尊厳と希望を持って暮らせる共生社会を目指す考え方。

答え・解説

正答：B. 夕方から不安や混乱が強くなることがある状態。

超簡単な解説：夕暮れ症候群は、夕方から不安や混乱が強くなることがある状態。

Q123 支援観 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、パーソン・センタード・ケアを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意見を聞き、地域参加や生活継続の方法を検討する。
- B. 過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 行動だけを止めようとせず、痛み・不安・環境要因を観察する。

答え・解説

正答：B. 過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。

超簡単な解説：パーソン・センタード・ケアでは、過去の生活歴や好みを把握し、本人の安心につながる関わりを行う。この対応が適切である。

Q124 支援技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践でユマニチュード的関わりを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。
- B. 不意な介助は恐怖や拒否につながりやすいため。
- C. 家族の支援継続には負担軽減が重要だから。
- D. 本人の性格の問題と決めつけると不適切な対応になるため。

答え・解説

正答：B. 不意な介助は恐怖や拒否につながりやすいため。

超簡単な解説：ユマニチュード的関わりを重視する理由は、不意な介助は恐怖や拒否につながりやすいため。

Q125 支援技術 | 4択 | 応用

問題

Eさんは回想法に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、本人が話したい記憶を尊重し、正誤を問い詰めない。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、回想法の観点から本人中心に対応する。

Q126 家族 | 4択 | 標準

問題

認知症の人の家族支援の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 家族の疲労や罪悪感を受け止め、レスパイト等の相談につなぐ。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：認知症の人の家族支援では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q127 疾患 | 4択 | 標準

問題

若年性認知症に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q128 制度 | 4択 | 基礎

問題

認知症基本法の理念に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q129 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、認知症の説明としてより適切なものはどれか。

- A. 昔の写真や道具、音楽などを用いて過去の体験を語る支援。
- B. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。
- C. 認知症の人を病気ではなく一人の人として捉え、その人らしさを尊重するケア。
- D. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

答え・解説

正答：D. 脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

超簡単な解説：認知症は、脳の病気などにより認知機能が低下し、生活に支障が出ている状態。

Q130 疾患 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、アルツハイマー型認知症を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- B. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 日付、場所、予定が分かる表示を見やすい位置に置く。

答え・解説

正答：B. 同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。

超簡単な解説：アルツハイマー型認知症では、同じ質問を責めず、予定表や環境表示で見通しを支える。この対応が適切である。

Q131 疾患 | 4択 | 標準

問題

介護実践で血管性認知症を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。
- B. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。
- C. 安心感や自己肯定感、交流を支えることがあるため。
- D. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。

答え・解説

正答：A. 認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。

超簡単な解説：血管性認知症を重視する理由は、認知機能だけでなく脳血管障害による生活障害への支援が必要だから。

Q132 疾患 | 4択 | 応用

問題

Fさんはレビー小体型認知症に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、『虫がいる』という訴えを否定せず、不安を受け止め安全を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、レビー小体型認知症の観点から本人中心に対応する。

Q133 疾患 | 4択 | 標準

問題

前頭側頭型認知症の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例133）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 行動の背景を観察し、環境調整や安全確保をチームで検討する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：前頭側頭型認知症では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q134 症状 | 4択 | 標準

問題

中核症状に関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q135 症状 | 4択 | 基礎

問題

BPSDに関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q136 症状 | 4択 | 応用

問題

見当識障害を支援計画に反映する際の考え方として、より適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q137 支援 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、徘徊への対応の説明としてより適切なものはどれか。

- A. 記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下など、脳の障害により直接生じる症状。
- B. 65歳未満で発症する認知症で、就労・家計・子育てなど特有の課題が生じやすい。
- C. 認知機能の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられることがある認知症。
- D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

答え・解説

正答：D. 歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

超簡単な解説：徘徊への対応は、歩き回る行動の背景を理解し、安全と目的の両面から支援すること。

Q138 症状 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、夕暮れ症候群を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 仕事や家庭内役割への影響を確認し、適切な相談先につなぐ。
- B. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。
- C. 無理に止めず、目的や不安を確認し安全に歩ける環境を整える。
- D. 症状を叱るのではなく、環境表示や手順の単純化で補う。

答え・解説

正答：B. 夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。

超簡単な解説：夕暮れ症候群では、夕方の環境変化や疲労を考え、落ち着く日課を整える。この対応が適切である。

Q139 支援観 | 4択 | 標準

問題

介護実践でパーソン・センタード・ケアを重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 中核症状は本人の努力不足ではないため。
- B. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。
- C. 認知症は生活支援の視点で理解する必要があるため。
- D. 記憶障害への叱責は不安と混乱を強めるため。

答え・解説

正答：B. その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。

超簡単な解説：パーソン・センタード・ケアを重視する理由は、その人らしさを支えることが尊厳と安心につながるため。

Q140 支援技術 | 4択 | 応用

問題

Bさんはユマニチュード的関わりに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、正面から目線を合わせ、穏やかな声で触れる前に説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ユマニチュード的関わりの観点から本人中心に対応する。